

# KSKP えのき

# NEWSLETTER

地域で当たり前暮らしのために

編集人：社会福祉法人えのき会  
理事長：古川 末子  
京都市伏見区桃山町山ノ下44-8  
075-605-0303 (TEL)  
075-605-0310 (FAX)  
e-mail: info@enokikai.or.jp  
http://enokikai.or.jp

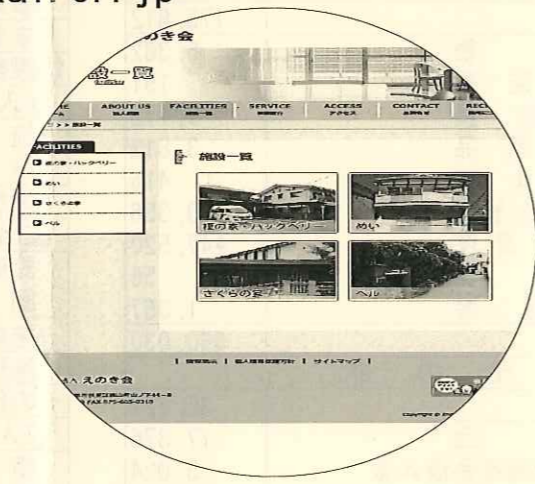
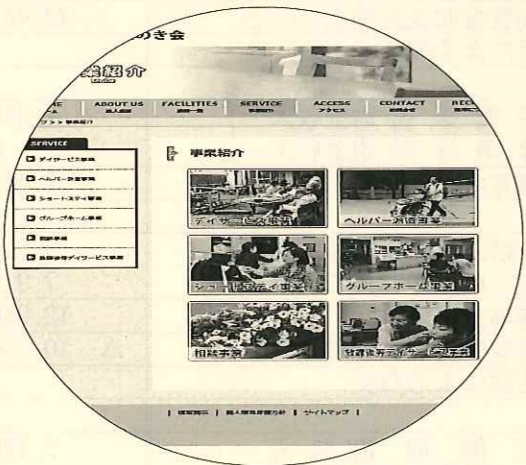


<http://enokikai.or.jp>

## HPが新しくなりました!



えのき会では、これまで、ボランティアや職員の手作りのホームページをアップしてきましたが、今回、ウェブ制作会社に依頼して、新しいHPを作成しました。ぜひ、ご覧ください。



えのきちゃんのイラストでお馴染みのホームページが新しくなりました。トップページはさくらの家の前の集合写真を使い、「利用者」と職員の写真が楽しめるものに仕上がりました。構成は、法人概要、施設一覧、事業紹介、職員採用を中心としたシンプルながら、ボリュームもスマートフォンで閲覧するのにもちょうどいいサイズになっています。リニューアルするにあたり、最も掲載したかった項目は、支援方針とこれから法人が進む方向性の明示でした。それぞれ「法人概要」のページに掲載しており、そこには支援に対するポリシーと地域社会に対する責任がこめられています。次に、学生向けのリクルート情報の発信にも力を入れました。将来自分が働いている姿をイメージしやすくするため、職員中心のページになっています。職員の一日の動きや、入職の動機などとともに、業務中の職員の様子などが掲載されていますので、ぜひご覧ください。

また、新たに「お知らせ」と「ブログ」を新設しました。「お知らせ」にはニュースレターなどの定期刊行物のアップや、台風・水害時のデイの開所情報、災害時の情報発信などをおこないます。「ブログ」では、デイの日中活動などを写真付きで掲載していきますので楽しみにお待ちください。

ホームページでいっていることと実際やっていることが違うぞ。というところがございましたら遠慮なく職員までご連絡ください。「お問い合わせ」よりメールでの苦情、要望などもお待ちしております。そういった面でもこのホームページが活用されればともうれしく思います。」

(事務局 西山竜)

## ご寄付のお礼とご報告

2015年4月~2016年3月末

敬称略・順不同

- 谷川 政弘 いつもお心遣い頂きありがとうございます。
- 奥田 希充子 法人の件でいつもアドバイスを頂き感謝致します。
- 土田 恵理子 健康さんが見たら喜んでくれるでしょうか。
- 山名 靖英 ご支援感謝致します。
- 内藤 善三 長年にわたりご支援頂き感謝申し上げます。
- 奥西 郁子 いつもありがとうございます。
- 早川 京子 職員研修でも、お世話になっています。感謝致します。
- 勝見 九重 いつも、えのき会を支えて頂きありがとうございます。
- 土田 登美雄 いつもご支援頂きありがとうございます。
- 中路 慶子 いつもえのき会にご支援頂き感謝申し上げます。
- 梅原 久美子 やっとご自分の老後を考えてる時が来ましたね!
- 谷内 文字 「新しい展開おめでとうございます」いつもご支援ありがとうございます。
- ぐんぐんハウス後援会 障害のある人により良い暮らしに向け頑張りましょう。
- 中島 勉 「わすかですが送らせて頂きます」のお言葉と共にありがとうございます。
- 武蔵野 眞知 長年にわたりご支援ありがとうございます。
- 森田 幸子 いつもご支援感謝致します。
- 木田 幸男 長年のご支援感謝致します。
- 桑田 明仁 遠くから応援頂きありがとうございます。
- 山村 幸子 お隣から、いつも見守って下さり心より感謝致します。
- 伊藤 由利子 「会の充実発展応援しています」メッセージと共にありがとうございます。
- 西田 信子 ご支援に感謝申し上げます。
- 清水 孝男 えのき会を長年ご支援頂きありがとうございます。
- 谷口 登茂子 みんなお元気ですか。いつもありがとうございます。
- 井上 充子 いつも応援して頂きありがとうございます。
- 樋口 清子 貴さんは、元気に暮らしています。「安心ください」。
- 竹村 壽子 「重度障害者に必要な施設を運営、発展させておられることに頭が下がります」いつもご支援感謝致します。
- 武部 久美子 小仲 幸子 ご支援頂きありがとうございます。
- 大谷 かおる 長年のご支援心よりありがとうございます。
- 草場 周啓 長年、えのき会をご支援頂き感謝申し上げます。
- 村上 貞子 いつもご支援ありがとうございます。
- 山本 正治 法人の評議員として、長年ご尽力下さりありがとうございます。
- 西村 清忠 橋本 加津代 医師ボランティアとして、利用者の風間の様子を診て下さっています。心より感謝致します。
- (有) 大谷 商事 長年、温かく見守って頂きありがとうございます。
- 北川 良工務店 何かあるとすぐに駆けつけて下さる心強い味方です! いのちな夢創園 いつも心から応援して頂き感謝申し上げます。
- 若桐の会 おばちゃんの家 スタジオK1M1 山本・長谷川 ご支援ありがとうございます。
- ご利用者・ご家族様からご支援いただきました。心より感謝申し上げます。
- 北野 一恵 いつもありがとうございます。
- 小山 敏江 藤谷 一夫 飯田 好子 秋山 泰人 大西 美智子 宮下 暁子 大西 雅也 松岡 匡宏 松岡 峰子 西村 響之助 田村 圭司 安井 愛咲 松川 泉 赤司 すえ子 植田 智恵 西村 昌樹 津々木 幸子 小中 孝則 河本 弘子 松田 晶代 秋山 眞一郎 清水 斎 面川 孝 渡辺 淳 古川 末子 募金箱

合計 2,967,181円



### 編集後記

世界で最も裕福な62人の保有する資産(206兆円)が、世界の貧しい半分36億人が所有する総資産の合計と同じというこんな報告書が載っていました。地球上で今起きている状況は、日本においても貧困、格差問題として毎日ニュースで報じられています。ひとり親家庭、その子どもの貧困、非正規雇用で働く人の貧困、そして障害者、シングル女性の貧困等々。わが国の首相は、減税政策で大企業が潤えば、トリクルダウンでお金が滴り落ちてきて、庶民も豊かになると。しかし、一向に落ちて来ません。浜矩子同志社大学院教授は、本来、経済活動とは、「人の営み」であり、人の痛みが分かる成熟した大人が「人を幸せにするために行うもの」。OECD加盟国の中でも貧困率が高い日本として、国がこの問題にもっと真剣に向き合うこと。そして、急がなくてはならない課題だと思えます。

○ 発行人・関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F  
○ 編集人：(福)えのき会 理事長 古川末子 〒612-8002 京都市伏見区桃山町山ノ下44-8

去る5月23日午後6時半より、理事会・評議員会が開催され、平成27年度事業報告ならびに決算報告がありました。

### 27年度 事業/決算 理事会報告

各事業の報告、決算報告のあと、それを受けて、2名の監事より各事業が適正に運営されているとともに、財務処理も適正である旨の報告を受け、全員異議なく平成27年度事業と決算が承認されました。



http://enokikai.or.jp

### 社会福祉事業 資金収支計算書

(自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日  
社会福祉法人 えのき会 (単位:千円)

勘定科目	決算
事業活動による収支	
収入	
障害福祉サービス等事業収入	313,912
経常経費寄附金収入	2,967
受取利息配当金収入	259
その他の収入	1,324
事業活動収入計(1)	318,462
支出	
人件費支出	208,423
事業費支出	15,749
事務費支出	21,617
支払利息支出	191
事業活動支出計(2)	245,979
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	72,483
施設整備等による収支	
収入	
施設整備等補助金収入	2,450
施設整備等寄附金収入	0
施設整備等収入計(4)	2,450
支出	
設備資金借入金元金償還支出	5,024
固定資産取得支出	7,926
施設整備等支出計(5)	12,950
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 10,500
その他の活動による収支	
収入	
積立資産取崩収入	2,120
サービス区分間繰入金収入	0
その他の活動収入計(7)	2,120
支出	
積立資産支出	41,440
差入保証金支出	0
サービス区分間繰入金支出	0
その他の活動による支出	91
その他の活動支出計(8)	41,531
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 39,410
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	22,572
前期末支払資金残高(12)	70,851
当期末支払資金残高(11)+(12)	93,423

### 社会福祉事業 貸借対照表

平成28年3月31日現在  
社会福祉法人 えのき会 (単位:千円)

資産の部		当年度末
勘定科目		
流動資産		114,126
現金預金		57,666
事業未収金	未収金	52,140
未立前払	未収替	2,926
仮払	費	164
	金	981
	金	250
固定資産		565,905
基本財産		390,093
土地	地物	181,602
建物	金	207,791
定期預金		700
その他の固定資産		175,812
構築物	物	5,362
機械及び装置	具	151
車両運搬具	品	7,772
器具及び備品		3,812
ソフトウェア	ア	416
退職給付引当資産	産	9,356
長期積立資産	金	147,520
出差入保証	金	56
	証	1,367
資産の部合計		680,030
負債の部		
流動負債		36,727
未払金		17,376
1年以内返済予定設備資金借入金		5,024
預り金		3,327
賞与引当金		11,000
固定負債		50,872
設備資金借入金		35,516
退職給付引当金		9,356
長期預り金		6,000
負債の部合計		87,599
純資産の部		
基本金		190,408
基本金		190,408
国庫補助金等特別積立金		103,945
国庫補助金等特別積立金		103,945
次期繰越活動増減差額		298,079
(うち当期活動増減差額)		63,464
純資産の部合計		592,432
負債及び純資産の部合計		680,030

## 産休、育休から仕事に復帰して

えのき会では、平成20年から8年間で、7名の女性職員が、産休・育休を取得し、その後全員復帰しています。また、大企業でもあまり進んでいない男性の育休取得第1号者として、3週間の育休を取得しました。これは伏見区管轄のハローワークでも、初めてのことでうれしいです。

えのき会でも、他の社会福祉現場同様に人手が充足しているわけではありませんが、これからの子育ては社会がバックアップしていく必要があると考えており、社会福祉法人として成長していくうえで、常に新たな人材確保に努め、心にゆとりがもてる職場環境の整備に尽力していきます。

育児休暇をいただいで

山本 朋子



二人目は12月生まれと  
いうことで、保育園の申込みは年度途中を希望しましたが、やはりいっぱい空きました。その結果、1年3ヶ月育休休暇を取らせていただきました。一人目の時は10か月での入園でしたので、より一緒にいる時間が多く、毎日本当に子供の成長に直面していました。寝返りができるようになり、ズリ這い、ハイハイ、つかまり立ち、あんよ...と全て自分が最初に立ち会い、そのたびに喜び、写真を撮ったりしてきました。

私も生後2か月から保育園に通っていたので、母に「あなたは本当に恵まれている。私の時代は育児休業なんてない時代だったから、子供たちの成長はいつも先生からの報告。でも、その分保育園に育ててもらったという思いは強いけど

ね。」と言われた時、当たり前だと思っていたことが当たり前ではないことに気が付かされ、育児休業のありがたさを実感しました。やはり、まさきに子供たちの成長過程を見たい！その時に一緒に喜びたい！と思うのはきつと親として自然なことだと思えます。それが息子と娘でできたことは本当に幸せだと感じました。

また育児休業中、上の息子にとっても良かったのかと思うのは、保育園のお迎え時間が早くなったこと。仕事をしている時はやはりどんなにがんばって早く帰っても定時に行くことはできず、いつも母迎えの時は最後から数えた方が早いくらい、最後の方でした。「もうちょっと早く来てほしい」という言葉を聞くとも申し訳ない気持ちになっていました。でも育児休業中は早い時間で帰れるから、帰りに公園で少し遊んだり、少し帰る道を変え、遠回りして帰ったりと今までのお迎えではできなかったこともできたので、息子も毎日の保育園を楽しんで行っ

てくれているようでした。

そんな息子は今5歳、娘は1歳半と日々成長し、母も子供たちを追っかけていながら少しは母親らしく成長できているのかな？と思いつつ毎日過ごしています。

育児休業を取得した結果・・・

廣坂 知也



中学生のころ、授業の一環で幼稚園に行き、思いがけず子どもになつたことを機に福祉の世界にきたこともあり、育児はひとつの大きな自己実現と実感していました。

ですから育休をとった3月10日からの3週間はもちろん貴重な時間でした。ただ、「物足りた」と言えば、足りなかったというのが本音でしょうか。

この期間が育休だったのか、はたまた育児ごっこだったのか。えのき会がひとりひとりに丁寧に向き合い、人生や生活といったものを支えていくことを目指しているわけですが、あれ？この間に自分は娘に向き合っていたのだろうか。

4月に仕事に復帰し、1週間をすぎたタイミングでかつての勤め先の利用者さんの訃報があり、悩んだ末にお通夜に。「40年も話せない、動けない苦行に耐えてきた」と息子さんのことを評するお父さんの言葉は、なんとも複雑で、ショックでもありました。私は彼に向き合

えていたのだろうか。

時間があれば向き合つことができ、「物足りた！」ともいえるような、そんな単純な話ではないのでしょうか、家外でもこうして人や命と向き合つことをしている以上、「育児しながら働く」「働きながら育児も」という「くながら」状態でどちらにもしっかりと向き合っているのだろうか、真剣に考えられているのだろうか。

「地域の中で当たり前前には暮らす」を標榜しています。

ただかたがた「3週間育児します」がもてはやしてもらえない。女性のそれに比べ、ちょっと男が家事をするというライといわれる当たり前は、本当に当たり前なのかと思つように。

目指しているはずの当たり前が見えてこなかったわけです。

「当たり前前の生活を目指し、向き合っていく」と言えば、とてもきれいな文章です。同時に具体がない、全然ぼつと答えが見えてこない、この文章の具体・中身を考え、つくっていくのが日々の家庭生活であって、日々の仕事でもある・・・という「当たり前前」のことが、この3週間の結果気づいたささやかなことでした。